

エコアクション 21

環境経営活動レポート

活動期間

2023年3月21日～2024年3月20日



 **EMIYAホールディングス**

(旧 株式会社エミヤ)

2024年6月20日

目 次

1. 環境経営方針	1
2. 事業活動の概要	2
3. 実施体制	3
4. 中期環境経営目標	4
5. 環境経営活動計画	5
6. 環境経営目標と実績	7
7. 取組評価と次年度取組	8
8. 環境経営活動の取組記録	10
9. 環境法規の遵守状況と関連事項	18
(1) 環境法規の遵守状況	
(2) 環境法規等違反による訴訟の有無	
(3) 環境法則に関連した苦情・要望等の有無	
10. 代表者による全体評価と見直し結果	19

1. 環境経営方針

【基本理念】

エミヤグループは、電気設備資材の卸売業、建設業、そして介護環境提供業として、照明器具をはじめとする電気設備機器・住宅設備機器を提供してまいりました。これらの事業活動は、オフィスビル・公共施設・住宅などの建築物や道路・通信網などの社会基盤整備へと直結しており、資源やエネルギー消費に及ぼす影響は多大です。従って、環境負荷低減への取り組みが当社の果たすべき社会的責任と認識し、継続的な環境負荷の軽減に努め、社会に貢献します。

【行動方針】

1. 事業活動を環境側面から見直し以下を重点項目として実施します。
 - (1) 業務のミス・ロス、クレームを削減して資源とエネルギーのムダを排除します。
 - (2) 省エネルギー・創エネルギー・蓄エネルギー機器、省資源対応の設備機器を提案販売することにより、低環境負荷社会の構築に貢献します。
 - (3) 3R（リデュース、リユース、リサイクル）を推進し、産業廃棄物の削減を行います。
2. 環境マネジメントシステムを確立し、定期的に見直しを実施し、継続的な改善を行います。
3. 事業活動を行うにあたって、関連する環境の法規、条例及びその他の規制事項を厳守します。
4. 全員参加による環境保全活動を実施します。

制定 2008年12月22日

改定 2012年 4月11日

改定 2019年 5月27日

改定 2020年 6月 3日



株式会社エミヤホールディングス
代表取締役 三神 司

2. 事業活動の概要

【1】事業所名 及び 代表者

会社名 株式会社エミヤホールディングス
代表者名 代表取締役社長 三神 司
所在地 〒003-0030
北海道札幌市白石区流通センター7丁目8番1号
U R L <https://www.emiya.com/>

【2】環境管理責任者 及び 担当者

環境管理責任者 村井 弘幸
事務局責任者 埴田 奈津子

【3】事業内容（認証・登録の範囲）

電気工事材料及び建築資材の販売、家庭用電気製品・電気通信機器空調機器の販売、
暖房機器・昇降機器・衛生・給排水設備機器の販売、太陽光発電施工、介護用品のレンタル
及び販売、介護リフォーム、リハビリ型デイサービス、住宅リフォーム

【4】事業規模

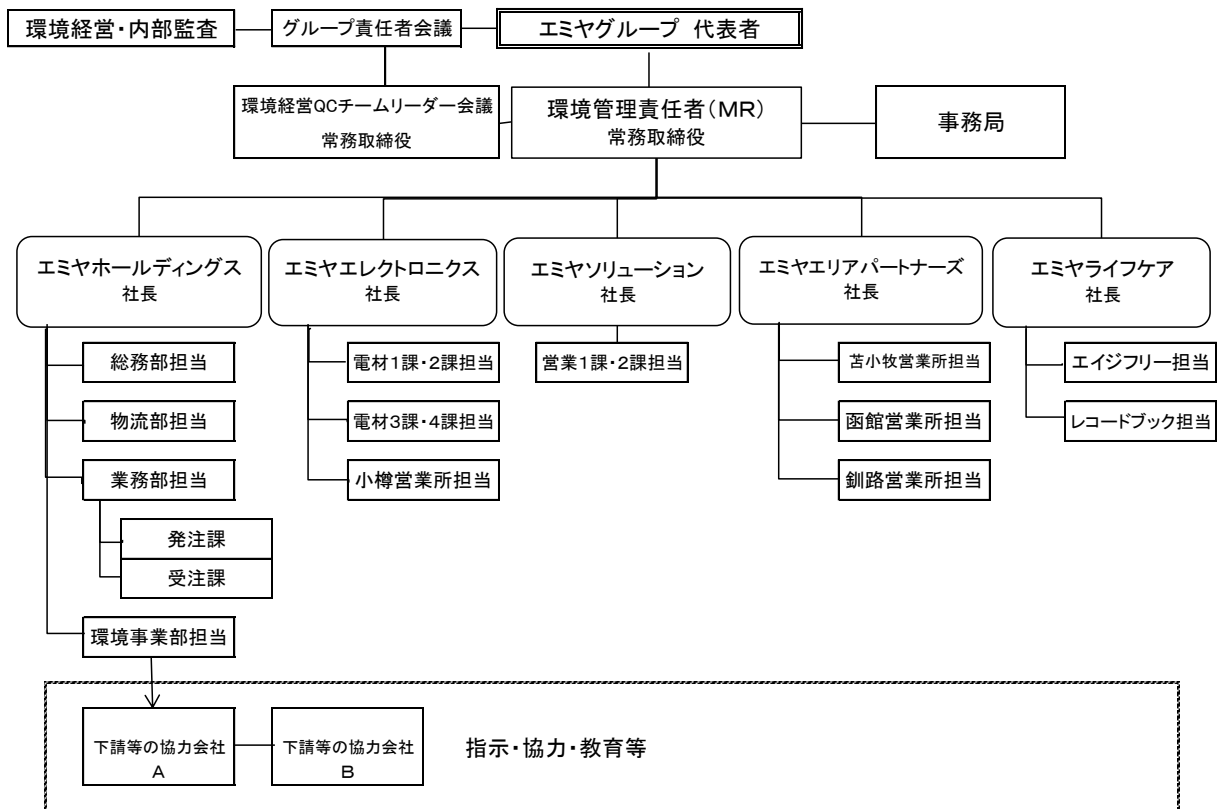
活動規模 2023年度（2023年4月～2024年3月）
売上高 118億17百万円（簡易連結）
従業員 148名
床面積 12,303.35㎡
年間工事件数 56件

【5】認証・登録対象事業所

(株)エミヤホールディングス本社	〒003-0030	札幌市白石区流通センター7丁目8番1号
エミヤエレクトロニクス(株) 本社 小樽営業所	〒003-0030 〒047-0013	札幌市白石区流通センター7丁目8番1号 小樽市奥沢2丁目9番1号
エミヤソリューション(株)	〒003-0030	札幌市白石区流通センター7丁目8番1号
エミヤエリアパートナーズ(株) 釧路営業所 苫小牧営業所 函館営業所	〒085-0003 〒053-0006 〒041-0824	釧路市川北町4番17号 苫小牧市新中野町3丁目6番11号 函館市西桔梗町589-49
エミヤライフケア(株) パナソニックエッジグループ 白石 レコードブック厚別	〒003-0030 〒004-0063	札幌市白石区流通センター7丁目8番1号 札幌市厚別区厚別西3条1丁目4番17号

※レコードブック札幌東は、2024年3月21日より取組を開始します。

3. 実施体制



構成要素	役割、責任及び権限
代表者	≪社長 三神司≫グループ会社を代表し、会社業務の全ての執行を統括する 1. EA21環境マネジメントシステムの実施及び管理に不可欠な資源の提供、資源には、人的資源及び専門的な技能、技術並びに資金を含む 2. 環境経営方針の作成 3. 環境管理責任者の任命 4. 全体の評価と見直しの実施 5. 課題とチャンスの明確化
環境管理責任者(MR)	≪常務 村井弘幸≫ 1. EA21に従った環境マネジメントシステムの要求事項の確立、実施、維持 2. 代表者(社長)への実績報告を含む見直しのための報告 3. EA21環境マネジメントシステムの運用実施 4. 環境経営活動レポートの作成責任
事務局	≪総務課 埴田奈津子≫ 1. 環境管理責任者のサポート 2. 環境管理責任者の指示による文書・記録の作成 3. 文書・記録の管理
環境経営・内部監査	≪グループ責任者会議≫ 1. 環境経営QCサークル活動の報告 2. 内部監査チェックリストによるチェック
各担当責任者	1. EA21環境マネジメントシステムの運用実施。
下請等の協力会社	省エネへの取り組み、廃棄物の分別など環境活動への参加に協力を求める。

4. 中期環境経営目標

項目	単位	今年度 78期目標 (2023年)	1年後 79期目標 (2024年)	2年後 80期目標 (2025年)	3年後 81期目標 (2026年)
二酸化炭素排出量 ※排出係数 0.549/0.393 (kg-CO2/Kwh)	Kg-CO2	前年比▲1% 302,159	前年比▲1% 299,137	前年比▲1%	前年比▲1%
電力使用量 ※1	kWh	前年比▲1% 186,862	前年比▲1% 184,993	前年比▲1%	前年比▲1%
都市ガス（札幌）	m ³	前年比▲1% 7,655	前年比▲1% 7,578	前年比▲1%	前年比▲1%
液化石油ガス使用量（小樽）	m ³	前年比▲1% 4.0	前年比▲1% 3.96	前年比▲1%	前年比▲1%
灯油使用量 ※2	L	前年比▲1% 4,024	前年比▲1% 3,984	前年比▲1%	前年比▲1%
ガソリン・軽油使用量 （1台当たり）	(L) /台	前年比▲1% 1,624	前年比▲1% 1,608	前年比▲1%	前年比▲1%
産業廃棄物排出量	kg	前年比▲1% 88,799	前年比▲1% 87,911	前年比▲1%	前年比▲1%
一般廃棄物排出量	m ³	前年比▲1% 43.95	前年比▲1% 43.51	前年比▲1%	前年比▲1%
水使用量	m ³	前年比▲1% 1,052	前年比▲1% 1,041	前年比▲1%	前年比▲1%
コピー用紙使用量	kg	前年比▲3% 4,883	前年比▲2% 4,834	前年比▲1%	前年比▲1%
環境配慮商品の販売					
①省エネ提案件数 ②省エネ受注件数	件	①222 ②125	各部署設定 の合計	各部署設定 の合計	各部署設定 の合計
ミス・ロス削減による 環境負荷低減	「自工程完結」管理思考を採用し、ミスを最小化する。		新年度方針 にて決定	新年度方針 にて決定	新年度方針 にて決定
石膏ボードリサイクル100%	%	100%	100%	100%	100%
環境に関わるリフォーム提案	件	55件	60件	65件	70件
化学物質使用量（塗料）	-	購入・使用はないが、発生した場合は適正に管理する。			

※1 北海道電力（札幌・小樽・RB厚別） / イーネットワークシステムズ（釧路・苫小牧・函館）
76期より2020年度北海道電力の排出係数0.549・イーネットワークシステムズ 0.393を使用。

※2 釧路・苫小牧・小樽（札幌は倉庫・函館は会議室のみ）

5. 環境経営活動計画

二酸化炭素排出量の削減		
項目	活動内容	
電気使用量 ガス使用量 灯油使用量	昼休み・退社時・使用していない場所の消灯	通年
	事務所蛍光灯の照度調節	通年
	不要箇所の光源取り外し	通年
	事務所照明のLED化	通年
	融雪電力の節電	冬期 (7~11月除く)
	天井ヒーターのこまめな切替	冬期 (7~11月除く)
	トイレ便座のフタを閉める	通年
	トイレ便座ヒーター夏場(6~9月)OFF	夏期(6~9月)
	トイレ主電源、帰宅時OFF。もしくは省エネモード。	通年
	トイレパネルヒーター・トイレジェットタオル禁止	通年
	使用しないパソコンの電源OFF	通年
	待機電力カット	通年
	電気ヒーターのこまめなOFF	冬期(12~3月)
	夏場・不要時の電気ポット使用削減	夏期(6~9月)
	コピー・FAX複合機を節電モードに保つ	通年
	電気温水器の温度調節 夏場OFF(6~9月)・冬場40℃(10~5月)	通年
	冷蔵庫にカーテンをつける	通年
	冷暖房の温度設定 夏場28℃(6~9月)・冬場23℃(10~5月)	通年
	使用しない場所は冷暖房を止める	通年
	エアコンフィルターのこまめな清掃	通年
シーリングファン・サーキュレーターで空気を循環し、エアコンの使用量を抑える。	通年	
ガソリン・軽油使用量	テレマティクス導入	通年
	日報管理(走行距離)	通年
	暖機運転は最小限にする	冬期(12~3月)
一般廃棄物排出量の削減		
項目	活動内容	
ゴミの分別	古紙類・空缶・ペットボトル・産廃に分別	通年
	リングプルリサイクル運動	通年
	マイ箸の推進	通年
水使用量の削減		
項目	活動内容	
水使用量	食器洗いや手洗いの際、水を出したままにしない	通年
	洗濯の際の水位調節	通年
	蛇口をシャワーへ替える	通年

コピー用紙使用量の削減		
項目	活動内容	
ペーパーレス デジタル化	ミスコピー・ミスプリントは裏面を再利用する	通年
	両面コピー（プリント）、集約コピー（プリント）を使用する	通年
	図面・見積はメールでやり取りをする。	通年
	WEBやメールを活用し、FAX注文を減らす	通年
環境配慮商品の購入・販売		
項目	活動内容	
環境配慮商品の購入	トイレットペーパーはシングル巻きであること。 芯なしトイレットペーパーの使用。	通年
	文房具はリサイクル材を多く使用していること	通年
	窓付封筒のエコ化	通年
環境配慮商品の販売	省エネ・省資源等の商品の販売・PRを推進 環境配慮商品の販売	通年
その他		
項目	活動内容	
ミス・ロスの削減による 環境負荷低減	「自工程完結」管理思考を採用し、ミスを最小化する。	通年
石膏ボードリサイクル	石膏ボードリサイクル100%。分別の徹底。	通年
環境に関わるリフォー ム提案	環境負荷低減に関わる提案	通年
化学物質使用（排出）量の削減		
項目	活動内容	
化学物質使用量（塗料）	購入・使用はないが、発生した場合は適正に管理する。	通年

6. 環境経営目標と実績

当社における環境目標と実績は下記の通りです。(2023年度 2023年3月21日～2024年3月20日)
76期より2020年度北海道電力の排出係数0.549・イーネットワークシステムズ[※]0.393を使用。

項目	単位	77期実績 (2022年)	78期 目標数値	78期実績・前年比 (2023年)		結果
				実績値	変動率	
二酸化炭素排出量 ※排出係数0.549/0.393(kg-CO2/Kwh)	Kg-CO2	305,210.8	前年比 ▲1%	300,346	▲1.6%	○
電力使用量 ※1	kWh	188,749	前年比 ▲1%	195,608	+3.6%	×
都市ガス(札幌)	m ³	7,732	前年比 ▲1%	7,279	▲5.9%	○
液化石油ガス使用量(小樽)	m ³	4.1	前年比 ▲1%	2.4	▲41.5%	○
灯油使用量 ※2	L	4,065	前年比 ▲1%	3,672.7	▲9.7%	○
ガソリン・軽油使用量 (1台当たり累計)	(L) / 台	1,639.5	前年比 ▲1%	1,744.1	+6.4%	×
産業廃棄物排出量	kg	89,696	前年比 ▲1%	60,020.5	▲33.1%	○
一般廃棄物排出量	m ³	44.39	前年比 ▲1%	42.16	▲5.0%	○
水使用量	m ³	1,063	前年比 ▲1%	993	▲6.6%	○
コピー用紙使用量	kg	5,034	前年比 ▲3%	5,468.5	+8.6%	×
環境配慮商品の販売						
①省エネ提案件数 ②省エネ受注件数	件	①84件 ②50件	①222件 ②125件	①19件 ②2件	①8.6% ②1.6%	×
ミス・ロス削減による 環境負荷低減	部門長によるアドバイスが生かされている。「思い込み」「確認不足」の2大要因に対して、2重チェックの強化が必要。		「自工程完結」管理思考を採用し、ミスを最小化する。	ミス・ロスは減少傾向にあるが、四半期ごとの前年対比が不十分なチームがある。数値化を図り対策強化が必要。		▲
石膏ボードリサイクル100%	%	100%	100%	100%	100%	○
環境に関わるリフォーム提案	件	21件	55件	47件	▲8件	×
化学物質使用量(塗料)	購入・使用はないが、発生した場合は適正に管理する。					-

※1 北海道電力(札幌・小樽・RB厚別) イーネットワークシステムズ(釧路・苫小牧・函館)

※2 釧路・苫小牧・小樽(札幌は倉庫・函館は会議室のみ)

7. 取組評価と次年度取組

評 価	次年度の取組
<p>◆電力使用量の削減 目標未達成【+3.6%】 ○小樽 ×札幌・釧路・苫小牧・函館・RB厚別</p> <p>小樽のみ目標達成。ノー残業デーや使用しないPCのシャットダウンを徹底し、6.6%削減できた。 札幌は2.5%UPだが、事務所照明は2.2%削減できた。 ホットタイムロングの増加が前年UPの要因。 釧路では倉庫は削減できたが事務所は増加した。男子トイレの便座スイッチをOFFするなどして削減を図ったが、夏場暑かったので使用量が増えた。また、秋口早めにエアコン暖房を使用した。苫小牧は6.9%UP。冬場暖かかったので、ストーブ(灯油)ではなくエアコンの暖房を使用した。函館も猛暑によりエアコン稼働率が上がった。 RB厚別は16.4%UP。冬場エアコンの室外機が雪に埋まり、30℃設定で稼働しないと室温が保てない状況となってしまった。</p>	<p>前年1%削減。 グループ全体としては、当たり前のルールの継続。無駄な使用をなくすようグループ一丸となって行動する。更に残業削減に取り組み、使用量を抑える。 札幌は会議室換気扇の消し忘れをなくすよう注意喚起を継続。 釧路は倉庫照明の消忘れ防止の為、スイッチの位置を変える。 RB厚別は、冬場に室外機が埋まらないよう対策を練る。</p>
<p>◆ガス使用量の削減 札幌：目標達成【▲5.9%】 小樽：目標達成【▲41.5%】 ○札幌・小樽</p> <p>札幌・小樽共に目標達成。札幌は猛暑のため夏場は前年UPしたが、冬場は暖冬のため11~3月迄使用量を抑えられ、トータルでは削減できた。小樽は6/21~10/20までガスの元栓を閉めて使用を控えた。</p>	<p>前年1%削減。 札幌は夏場、必要以上に事務所を冷やしすぎないように定期的に事務局から通知を行う。エアコンフィルターの清掃、会議室使用後のエアコン消し忘れチェックを継続。残業削減に取り組み、使用量を抑える。</p>
<p>◆灯油使用量の削減 目標達成【▲9.7%】 ○苫小牧・函館・小樽 ×札幌・釧路</p> <p>苫小牧は9.7%削減。冬場、ストーブではなくエアコンの暖房を使用したため。小樽は22.5%削減。扇風機を利用して温度のムラをなくし、適切な温度を保つようにした。 函館は会議室のみの使用で、前期の購入分に対応できた。 札幌は倉庫のみの使用。昨年購入せず今期購入したため。 釧路は2.5%UP。会議室の利用が増えたことと、倉庫のストーブ消し忘れも見られた。</p>	<p>前年1%削減。 気温に左右されるが、こまめに切替えをし、温度管理を行う。ウォームビズの励行。暖気が逃げないように戸の開けっ放しにも注意を払う。 消し忘れにも注意する。</p>
<p>◆ガソリン・軽油使用量の削減（1台当りの使用量） 目標未達成【+6.4%】 ○札幌 ×釧路・苫小牧・函館・小樽・RB厚別</p> <p>札幌は3.8%削減。燃費の良い営業車が増えたのと、稼働率が低くなったため。 釧路は10.0%UP。コロナの規制がなくなり遠方への現場搬入が増えた。苫小牧は1.1%UP。室蘭行きの業務が増えたことが影響した。函館は営業担当が2名増え、地方への配達や営業が増えた。小樽は前期1名減で使用量が減っていたため、今期はUPとなった。RB厚別は送迎範囲の利用者様が増え、コロナの規制がなくなったことで営業訪問が増加した。</p>	<p>前年1%削減。 アイドリングストップなど、より一層エコドライブを心がける。 ミス・ロスによる緊急配達・誤配達を減らす。まとめ配送を行う。今後も、効率良いルートで営業する。</p>

評 価	次年度の取組
<p>◆産業廃棄物排出量の削減 目標達成【▲33.1%】 適正に分別し、正しい処理を行った。</p>	引き続き、適正な処理を行う。
<p>◆一般廃棄物排出量の削減 目標達成【▲5.0%】 ○札幌・小樽・RB厚別 ×釧路・苫小牧・函館 札幌は8.7%削減。小樽は11.3%削減。分別・圧縮を徹底して行った。RB厚別は2.4%削減。物品は詰替え用を優先して購入し、ゴミを捨てる際は圧縮するよう意識づけた。 釧路は56.1%UP。前年の倉庫のゴミを廃棄したため。苫小牧は9.1%UP。倉庫の整理を行った。函館も11.1%UP。前年のプラごみを処分したため。</p>	前年1%削減。 個々のゴミ分別の意識向上と、廃棄の際は圧縮して容積を減らすこと。問題があれば事務局から注意する。また、増えた場合の原因追究を行い、改善する。営業所で前年のゴミをまとめて廃棄したことが報告されているが、こまめに処分するように心がける。
<p>◆水使用量の削減 目標達成【▲6.6%】 ○苫小牧・函館・小樽・RB厚別 ×札幌・釧路 苫小牧24.6%削減。8月にトイレの改修工事があり、節水タイプになったことで大幅に削減できた。函館は23.1%削減。毎日の掃除を見直し、回数を減らして個々でこまめに清掃するようにした。RB厚別は8.8%削減。前期と比べて加湿器の利用が1ヶ月短かった。札幌は1.5%UP。人員が増えている割にはそれほど増加していない。釧路は加湿器の利用が増え、時々手洗い場の水が止まっていなかったこともあり4.1%UP。</p>	前年1%削減。 細かな日常生活での節水を継続。手洗い・食器洗い・洗濯の際の水位調節や、拭き掃除・窓掃除などで使用する水も調整しながら行う。 釧路は水の止め忘れがないようQC会議で報告していく。RB厚別は、加湿器の利用に関して、つけっぱなしにするのではなく、湿度計を確認しながら適切に管理する。
<p>◆コピー用紙使用量の削減 未目標達成【+8.6%】 ○釧路・苫小牧・小樽 ×札幌・函館・RB厚別 全拠点で紙ベースから電子化を図った。釧路は不要なFAX受信拒否を行った。小樽はPCからの直接FAXを利用した。札幌は会議にPC持参やミーティングボードを活用しペーパーレス化を図ったが、売上増により削減にはならなかった。RB厚別は、利用者様へ交付する資料が増え、増加してしまった。</p>	前年2%削減。 紙ベースから電子化への移行。印刷ミス削減。QC活動を通じて情報を共有し、できる限りの削減を行っていく。
<p>◆環境配慮商品の販売 省エネ提案件数 提案件数 19件 目標未達成【8.6%】 受注件数 2件 目標未達成【1.6%】 評価基準が変わったため、達成率が大幅減少。</p>	省エネ提案をグループ責任者会議の定例議題とし、共通認識を持ち「省エネを極める」 全社で提案件数123件・受注件数68件を目標とする。
<p>◆ミス・ロス削減による環境負荷低減 ミスロスは減少傾向にあるが、四半期ごとの対比が不十分なチームがあった。数値化を図り、対策強化が必要。</p>	引き続き「自工程完結」管理思考を採用し、ミスを最小化する。
<p>◆石膏ボードリサイクル100% 環境に配慮し、100%リサイクルできるものを使用。分別を徹底し、適正に処理を行った。</p>	引き続き100%とする。
<p>◆環境に関わるリフォーム提案 実績47件 目標未達成【▲8件】</p>	目標60件。
<p>◆化学物質使用量（塗料） 購入・使用はないが、発生した場合は適正に管理する。</p>	発生した場合は適正に管理する。

8. 環境経営活動の取組記録

◆社内提示物



環境経営方針の社内掲示



クールビズポスター
5/15～9/29迄実施



2019年10年継続記念



2022年北洋銀行さんのHPに
当社のSDGs宣言が掲載されました。

当社重点項目



◆二酸化炭素排出量の削減



トイレジェットタオルの禁止



トイレ便座のフタを閉める



テレマティクスサービスで
社用車走行管理



事務所・倉庫照明のLED化
(釧路・苫小牧・函館・小樽・レコードブック厚別)
※札幌は一部(会議室・会長室・応接間・倉庫)



照明スイッチに担当者をつけて管理
(札幌)



換気扇消し忘れ注意喚起
(釧路 会議室)



エアコンスイッチに担当者をつけて管理 (札幌)



シーリングファンを取り付け、
室内の温度を一定に保っています
(札幌)



エアコンフィルターの清掃 (札幌)



(小樽)



(レコードブック厚別)

◆一般廃棄物排出量の削減



裏紙の再利用



古紙の分別 部署ごとに配置



段ボール廃棄置場

※古紙や段ボールは業者へ引き渡し

◆産業廃棄物の分類



産廃カゴ



◆水使用量の削減



節水表示
蛇口をシャワーへ変換



節水表示
トイレタンク (大・小の使い分け)
2度流し禁止



定期的に事務所周りの雑草刈り、ゴミ拾いを行っています
(左：札幌・中：苫小牧・右：釧路)

※小樽も定期的に行っています



窓掃除（札幌）



(レコードブック厚別)



古紙回収 1,715 kg に対し、苫小牧上質古紙リサイクル
協同組合より、12ロール×8個配布していただきました
(苫小牧)



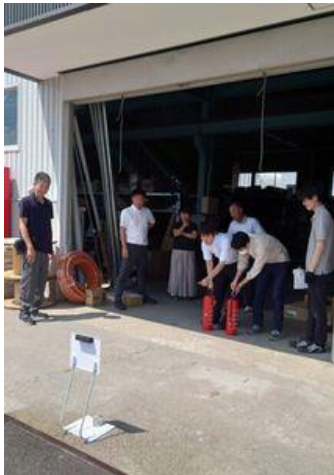
駐車場の横に芝桜・ひまわりを植えて
景観を良くしています（釧路）

◆地震想定防災訓練 ※対応手順に基づき、年1回実施しています。

8/10 札幌 地震想定防災訓練(避難・消火器取扱い説明・消火)



8/4 函館消火器訓練



8/9 釧路消火器訓練



8/10 苫小牧消火器訓練



8/10 小樽地震避難訓練



8/8 レコードブック厚別 地震想定防災訓練

緊急地震速報が鳴り利用者様がいると仮定した対応行動中
ADLが高い方は机の下、
低い方は養生室へ誘導

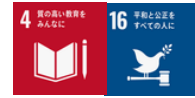


座学

- ・防災訓練備品の確認
- ・消火器の使い方の確認



◆教育訓練 ※エコアクション21を環境経営QC活動に取り入れています



- ① 4月グループ方針全社大会で前期の反省78期方針発表。
- ② 部署ごとに月1回のQCチーム会議
- ③ 10月確認会議にて上期活動総評



部署ごとのQCチーム会議の様子



毎月活動内容を
メールで報告



事務局よりメールで情報発信。
社員とのコミュニケーションを図ります。



4月全社大会
常務取締役（環境管理責任者）による
前期の反省と78期方針発表の様子

金賞 11チーム
銀賞 5チーム

16チーム、金賞を目指して活動しています！

2023年度【78期】QC表彰

金賞
発注課 受注課 物流部 総務部
電材1+2課 苫小牧営業所
ソリューション 環境事業部・営業企画課
エイジフリー レコードブック厚別

銀賞
電材3+4課 小樽営業所 釧路営業所
函館営業所 レコードブック札幌東

◆「なっとくガッ展 2023」開催 (2023. 5. 16~5. 17)



おかげさまで14回目となりました



◆オール電化・太陽光・LED照明のご提案



マンション共用部分の様々な照明を一括取り揃え

最高の技術をお客様にご提供します
※当社HPより

◆太陽光の設置 (札幌)



札幌で設置している太陽光

78期 年間総発電量 6,070Kwh → 3,332.4 kg-CO2 削減

9. 環境法規の遵守状況と関連事項

(1) 環境法規の遵守状況

環境法規の適用の有無に関しては、法規、条例を調査し、当社の事業活動の範囲から関連法則を抽出している。当社の事業活動に該当または関連している法律は、条例については、その規格の内容と要求事項並びに当社が実施すべき活動内容を記載した登録簿を作成し、これに基づいて当社の環境活動を実施している。
環境法規について違反はなかった。

(2) 環境法規等違反による訴訟の有無

環境法律等違反による顧客・地域からの訴訟は現在まで発生していない。

(3) 環境法則に関連した苦情・要望等の有無

適用法規制	当社の対応	遵守状況
火災予防条例	適正に維持管理 取扱責任者の掲示板	遵守確認済み
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	保管には囲いと掲示板を設ける 運搬収集許可の更新 管理票の保管と札幌市への報告	遵守確認済み
道路運送車両の保安基準	構造、騒音の大きさ等に関し基準に適合 ばい煙、悪臭のあるガス又は有害なガスを多 量に発散しないもの	遵守確認済み
家電リサイクル法	【特定家庭用機器】 小売店へ料金を支払い、引渡す。 又は自治体指定の方法で引取依頼する。	遵守確認済み
フロン排出抑制法	3ヶ月ごとの簡易点検 年に一度の業者による定期点検	遵守確認済み

10. 代表者による全体評価と見直し結果

2024年度環境活動計画について

- 基本的な考え方。全社SDGsへの取り組みを行うにあたって、SDGsの環境系目標をエコアクション21にて実施・管理することとする。
- 実施体制については、環境マネジメントマニュアルの通り設置し、活動を推進する。
- 各項目を継続し、1%削減を目標とする。※コピー用紙は2%削減。
- 79期もQCサークル活動により具体的推進を図る
 - (1) ミス・ロス削減活動
 - PDCAを回転させ「自工程完結」管理思考を採用し、ミスを最小化する。
 - (2) 環境配慮商品提案販売
 - (3) 二酸化炭素排出量削減
 - (4) 一般廃棄物排出量削減
 - (5) 水使用量削減
 - (6) コピー用紙使用量削減
 - (7) 2S（整理整頓）
 - (8) 「活動管理板」
 - (9) 部署の独自項目
- 年に2回の全社員会議に機会を設け事例発表と水平展開を行う。
- 環境経営・QC活動の方針確認をグループ責任者会議の定番議題とし、管理する。
- 環境製品の提案・販売について、省エネ提案件数と受注件数を目標に取り入れる。
省エネ提案件数123件 / 受注件数68件
その他環境製品の提案販売に注力する。